

妙智會

5月28日本部供養会
本殿大講堂（ライブ配信）
宮本會長先生ご指導Vol. 167
2025. 6. 15
1/2

5月25日、母、宮本愛子女先生十三回忌法要に、大勢の方々に本部へお越し頂き、ご供養をして頂いたこと、心より感謝申し上げます。母、愛子女先生も皆さんのお心を頂き、大変喜んでおります。ありがとうございました。

そして5月18日、大導師さまお誕生の日に、バチカン市国で新ローマ教皇就任式のミサ、翌日には謁見式に出席をさせていただきました。日本の宗教者を代表して2名、その中の1人として直接新教皇さまに、私の思いをお伝えさせて頂くことができました。ですが「なぜ妙智會が日本を代表して参列に選ばれたのか？」とほとんどの日本の宗教団体、多くの宗教者の方々はそうのように思っていると思います。実際、他教団の方からも聞かれ、今そういう人達の思いが、生霊となって来ております。

5月という意味のある月に私の力ではなく、小さな教団でもお四方のお力、霊界のご順序を頂ければ、きちんと大きなお計らいを頂ける教団なのだと、皆さまに受け止めて頂けたと思います。

さて、世間ではお米が騒がれておりますが、お米は農耕民族である日本人にとっては、当然ながら大変大切な資源です。ご神佛にお米とお塩を差し上げることからもわかると思いますが、これは大切な習慣であり、妙智會でも炊いたご飯を差し上げなさいと伝えております。

また、地鎮祭では土地を清める時、米を洗い、乾かした米（洗米）とお塩を混ぜてお清めするよう申しております。

特に個人指導で生霊を切る時は、お清めになるのでお塩を差し上げなさいと指導しております。通常は、ご佛壇の中にお塩をお入

れするのですが、それができない時には、玄関に盛り塩をします。

私たちは、會主さまより「玄関は綺麗に下さい」と教えて頂いております。何故なら神さま、佛さまも人間同様に玄関からお入りになるので、玄関が汚い家にはご神佛は入ってくれません。

逆に「魔」が入って来るのです。それに、トイレと台所が大切です。台所は、荒神さまがいらっしゃるのです、気を遣っていると思いますが、トイレも綺麗にしなければならないのです。

皆さんの捉え方は、掃除さえすれば綺麗だという考えです。

しかし、神さまに喜ばれる綺麗とは、掃除をした上で、整理整頓も含めて綺麗にしなければ駄目なのです。それには、余計なものは置かないことです。例えば玄関なら、脱いだ靴は下駄箱に収めること。買い物なら、無駄な物や余計な物は買わない。知恵を使って、できるだけ物を増やさないことも大切です。

職員の机、ロッカーも、信者さんからお借りしているものであって、人さまの物を私物のようにどんどん入れて汚くなっています。それは、面倒くさいという根性があるからです。

職員は、身の回りを整理整頓することから始めないと、絶対に信者さんに対して尽くすことができません。整理整頓ができていないところには、ご神佛は宿らないのです。

自分の家や身の回り、すべての物を綺麗にしなければならないという気持ちになってもらいたいのです。

ご神佛が宿って頂ける環境に努めることで、盛り塩により生霊や他の因縁も切れるのです。汚いままでは、盛り塩を置いても因縁は切れません。お掃除と整理整頓をして、綺麗なご自分、綺麗な家にして頂ければ、病氣や怪我が少なくなると私は信じております。ぜひ実行してください。